

令和 7 年 12 月 4 日

玄界環境組合
組合長 田辺 一城 様

宗像清掃工場環境委員会
委員長 柳瀬 龍二



宗像清掃工場環境監視・調査結果について（答申）

令和 7 年 6 月 30 日付けで諮問のありました下記事項について、次のとおり答申致します。

記

1. 諮問

（1）令和 6 年 9 月から令和 7 年 8 月までの宗像清掃工場環境監視・調査結果について

2. 答申

令和 7 年 6 月 30 日、令和 7 年 11 月 26 日に開催した宗像清掃工場環境委員会においては、諮問事項に関して以下の区分に分け、周辺環境及び施設の維持管理に関する環境監視結果の評価を行った。

年月日	検討内容（主なもの）
令和 7 年 6 月 30 日	・ 施設稼働後環境監視結果 (R6(2024) 年 9 月～R7(2025) 年 3 月) について
令和 7 年 11 月 26 日	・ 施設稼働後環境監視結果 (R7(2025) 年 4 月～R7(2025) 年 8 月) について

2.1 令和 7 年 6 月 30 日(令和 7 年第 1 回環境委員会)の評価

周辺環境に関する環境監視調査は、計画どおり大気質、水質について実施されており、環境調査時において、周辺の状況を踏まえて委員会で審議した結果、環境基準値等を満足している。

施設の維持管理に関する環境監視調査は、計画どおり焼却対象物、埋立対象物、大気質、水質、騒音・振動、作業環境、ばい煙測定について実施されており、委員会で審議した結果、施設の計画値等を満足し稼働している。

2.2 令和7年11月26日(令和7年第2回環境委員会)の評価

周辺環境に関する環境監視調査は、計画どおり大気質、水質、土壌について実施されており、委員会で審議した結果、環境基準値等を満足している。

施設の維持管理に関する環境監視調査は、計画どおり焼却対象物、大気質、水質、悪臭、作業環境について実施されており、委員会で審議した結果、施設の計画値等を満足し稼働している。

また、今年8月の豪雨災害により災害廃棄物が発生したが、その量は限定的であり、施設の稼働に支障はなかった。

3. 総括

今期の環境調査期間中において、8月に発生した豪雨災害による災害廃棄物処理等を含む施設への支障はなく、環境監視対象地点への外的要因等も踏まえ、環境監視結果(令和6年9月～令和7年8月)について、宗像清掃工場環境委員会において審議した。施設の維持管理に関する環境監視及び周辺環境監視の結果は、施設の計画値等を満足しており、工場が周辺環境を悪化させるものではないと評価する。

なお、本施設は稼働後約22年が経過し、徐々に老朽化の兆候が認められている。また、環境監視結果では、ビニール・合成樹脂ゴム皮革類の発熱量の高い可燃物の割合が稼働当初と比べて高くなっている傾向が確認された。このため、焼却対象物の組成の可燃分、特に、ビニール合成樹脂等の減量化を図ることが老朽化した施設の維持管理費の削減及び長寿命化のためにも重要である。

以上

なお、諮問についてのお問い合わせは、工場までお願いします。

宗像清掃工場

場長 秦 康 典